



特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 1 年 6 月 19 日

島根県知事 殿

提出者

住 所 島根県浜田市浅井町777番地12

氏 名 独立行政法人国立病院機構

浜田医療センター 院長 石黒眞吾

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0855-25-0505

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、平成 30年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター
事業場の所在地	島根県浜田市浅井町777番地12
事業の種類	医療業
特別管理産業廃棄物処理計画における 計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	318.460t	全処理委託量	318.460t
自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への 処理委託量	318.460t
自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への 処理委託量	0t
自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への 処理委託量	0t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:

感染性廃棄物

有償物量
① 326,390t

不要物等発生量
② 326,390t

排出量
③ 326,390t

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら直接立入処分した量又は海洋投げ入れ処分した量	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投げ入れ処分した量	自ら中間処理した後、自ら直接利用した量	自ら中間処理した後、自ら再生利用した量	自ら中間処理した後、自ら直接利用した量	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投げ入れ処分した量	自ら中間処理した後、自ら直接利用した量	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投げ入れ処分した量	自ら中間処理した後、自ら直接利用した量	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投げ入れ処分した量	自ら中間処理した後、自ら直接利用した量	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投げ入れ処分した量
① 排出量	326,390t	326,390t	326,390t	326,390t	326,390t	326,390t	326,390t	326,390t	326,390t	326,390t	326,390t	326,390t	326,390t	326,390t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量														
⑤ 自ら熱回収を行った量														
⑦ 自ら中間処理により減量した量														
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投げ入れ処分を行った量														
⑩ 全処理委託量														
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量														
⑫ 再生利用業者への処理委託量														
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量														
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者の処理委託量														

(第2面)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類:
引火性廃油)

有機物量

0.3726 t

自ら直接
再生利用した量
②
0 t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③
0 t

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧
0 t

項目	実績値														
①排出量	0.3726 t														
④自ら中間処理した量	0 t														
⑥自ら中間処理した後の残さ量	0 t														
⑨自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	0 t														
⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑫	0 t														
⑭のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑮	0 t														
⑩直接及びび自ら 中間処理した後の 処理委託量 ⑪	0.3726 t														
⑫のうち優良認定 処理業者への 処理委託量 ⑬	0 t														
⑭のうち熱回収認定 業者への処理 委託量 ⑮	0.3726 t														
⑮のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑯	0 t														
⑰のうち熱回収認定 業者への処理 委託量 ⑱	0.3726 t														
⑲のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑳	0 t														
⑳のうち熱回収認定 業者への処理 委託量 ㉑	0.3726 t														

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物処理に関して、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(16)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。